



2010
3月
第22号

しまばら 社協だより

SHIMABARA

発行 社会福祉法人島原市社会福祉協議会
本所 島原市霊南一丁目17番地
(島原市福祉センター)
TEL 0957-63-3855
支所 島原市有明町大三東戊1352番地1
(島原市有明福祉センター1階)
TEL 0957-65-9090
ホームページ <http://www.shimabara-shakyo.or.jp>
メール info@shimabara-shakyo.or.jp

有明地区社協発足

市内全地区に地区社協がそろろう

島原市社会福祉協議会で、地域に密着した地域福祉活動を推進するために、「地区社協」の組織化について関係団体と協議を進めていきましたが、有明地区においては12月17日に設立総会が開催され、有明地区社会福祉協議会が発足しました。

今回の有明地区社協の設立で市内の地区社協が7カ所となり、市内全地区に地区社協が設置され、各地区



▲ 設立総会で協議をする有明地区社協役員のみなさん
＝島原有明総合文化会館

の特性を活かした福祉活動が益々充実していくことが期待されます。

有明地区社協はひとり暮らし高齢者配食サービス、世代間交流事業、高齢者ふれあいサロンを活動の柱として計画されています。

【有明地区社協役員】
会長 矢川武士(自治会連絡協議会)
副会長 松本力(自治会連絡協議会)、篠塚澄人(自治公民館連絡協議会)
金子三豊(民生委員児童

設立あいさつをする 矢川武士会長



委員協議会)、松田久隆(老人クラブ連合会)、松本ヨシミ(婦人会)、宮崎善金(青少年健全育成協議会)、松本秀香(食生活改善推進員協議会)
事務局長 江上敏英(自治公民館連絡協議会)
理事 森光頼之、大島保博、宇土幸夫、伊達秋信、浦田毅、永田康廣(以上自治会連絡協議会)、石尾忠徳、大津益人(以上自治公民館連絡協議会)、織田正美、宇土洋子、坂上由喜美(以上民生委員児童委員協議会)、吉田繁正、坂本梓、柳原澄人(以上老人クラブ連合会)、広瀬ツヤ子、金子保子(以上婦人会)、橋本重富、坂本昇隆(以上青少年健全育成協議会)、佐々木房子、藤本富美子(以上

食生活改善推進員協議会
監事 小田護(自治会連絡協議会)、森昭子(婦人会)

地区社協とは

住民ひとりひとりが社会福祉に参加して、地域の中

のたすけあいを育てていくための組織で「誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくり」を目指します。地区住民や町内会・自治会、民生委員・児童委員その他の地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。

市社協と地区社協との関係

地区内の福祉ニーズに対して自主的・自発的に取り組む地区社協に対し、市社協はそれらの地区社協の諸活動に必要な財政支援をはじめ、情報提供、地区社協相互間及び市社協との連絡調整などによる支援をします。また、1つの地区で対応、解決できない福祉ニーズあるいは各々が共通して抱える問題は全体的な福祉課題として、市社協が地区社協と協力してこれにあたることとなります。

大三東小・一小で福祉体験 人と人との協力の大切さを知る

高齢者や体の不自由な人の理解を深めようと、1月21日に大三東小学校3年生が高齢者疑似体験を行い、2月8日から10日の3日間第一小学校5年生が車いす体験と高齢者疑似体験を行いました。

高齢者体験をした大三東小児童は「立ち上がるときひざが曲がりにくかったり目がぼんやりとしか見えなかつたり、体が重く感じた



▶ 体験セットをつけ立ち上がりにくさを体感する児童

しく接したいです。」と感想を述べました。

また、高齢者体験セットをつけたら、車いすに乗りながら普段の学校生活を過ごした小児童は「車いすで大きな段差を越えるとき他の人の力を借りないと進めず、人と人との協力の大切さを知ることができました。」と上手くできずにいたとき周りの人から「手伝おうか」と声をかけてもらったのがうれしかった。高齢者や体の不自由な人を見かけたら声をかけてあげられるようになりたいです。」と感想を述べ、体験を通じて皆さんのことを感じ取っていました。

三会中学生徒会 プルタブ収集に取り組む

12月24日、三会中学校生徒会の代表が全校生徒で数年間かけて集めたプルタブ約130キログラムを島原市社会福祉協議会に届けてくれました。

生徒会代表の「車いすの購入に役立ててください」の言葉に、市社協金子事務局長は「車いす購入に必要なプルタブの量が約800キログラムと言われている。皆さんの善意に感謝し形にしたいと思います。」とお礼を述べました。



▶ プルタブを手渡す
三会中学生徒会代表

困ったら、悩んだら

心配ごと相談所へ

社会福祉協議会では福祉の相談はもちろん、あらゆる相談を相談員が丁寧にお受けします。

- ◆ 島原市福祉センター
(島原市霊南一丁目17)
電話64-7050
毎月第1・3火曜日 午後1時～4時
- ◆ 島原市有明福祉センター
(島原市有明町大三東戊1352)
電話65-9090
毎月第2・4水曜日 午後1時～4時

プルタブまとめ知識

プルタブを集めるとそのまま車いすに変身するわけではありません。収集

したプルタブを資源回収業者に買い取ってもらいそのお金で車いすを購入するという流れです。

ご協力ありがとうございました



10月1日▶12月31日

募金総額 8,198,903円

- ◆戸別募金 6,609,800円
- ◆事業所募金 945,000円
- ◆学校募金 386,575円
- ◆職域募金 190,500円
- ◆街頭募金 43,349円
- ◆その他募金 23,679円

昨年10月1日から12月31日まで活動を展開しました赤い羽根共同募金運動は、市民皆さまの暖かいご協力を得まして多くの募金が寄せられました。

心から感謝し、お礼申し上げます。

県内各市町で寄せられました共同募金は、長崎県共

同募金会にいったん集められ、平成22年度に民間の社会福祉の資金として使われます。広域的には、社会福祉施設や県域で活動している団体などに、市町では社協、NPO法人、各種福祉活動団体などに配分され、さまざま活動に有効に使われます。



島原市赤十字奉仕団が

赤十字ボランティア

研修会を受講

2月19日、霊丘公民館で島原市赤十字奉仕団（市婦人会）約60人が赤十字ボランティア基礎研修を受講しました。

この研修会は、赤十字ボランティアとしての意識の高揚を図るとともに、活動するための必要となる基礎的な知識及び技術を身につけることを目的とし、日赤長崎県支部の主催で行われました。

赤十字の歴史や、人道・公平・中立といった赤十字

の基本原則を学んだ後は、災害時の高齢者支援として接するときの心づかいや、体の変化をふまえ、足浴やホットタオルの作り方、リラクゼーション方法などの技術も身につけました。

参加者は「学んだことをこれからの活動に役立てたい。」と感想を述べました。

ホットタオルは簡単ですが、にできるので日常でも使いたい。」と感想を述べました。

ホットタオルの作り方は以下のとおりです。

ホットタオルの作り方

- 準備品
- ・タオル2
 - ・ビニール袋1
 - ・カップ（湯のみ等）
 - ・熱湯100ml程度

- ①ビニール袋にタオルを1枚入れ熱湯をかける
- ②乾いたタオルに包んで軽く押さえお湯をなじませる



第11回 子どもフェスティバル

大勢の子ども達でにぎわう



▲ 子どもスタッフのお店に列をつくる子ども達 = 島原文化会館



島原子どもフェスティバル実行委員会主催の第11回島原子どもフェスティバルが2月21日、島原文化会館と森岳公民館で開催されました。

地域の皆さんの協力のもと企画・運営など全てに子ども達が関わり、カレー、うどん、やきそば、お菓子などの出店やフリーマーケット、お化け屋敷、迷路、はしご車体験などのコーナーもあり、たくさんの子も達でにぎわいました。

平成22年度 障害者巡回歯科診療 実施のお知らせ

長崎県では毎年、障害のある方の歯科診療機会を確保するため、歯科診療車による巡回歯科診療を行っています。

■実施時期（県南地区）

6月：4日、11日、18日、25日
7月：2日、9日、16日、23日、30日
8月：6日、20日、27日（毎週金曜日）

■対象者

- ・障害者自立支援法第4条第1項、第2項の規定に該当し、歯科診療・検診が必要な方
- ・一般の歯科診療での治療・検診が困難な方、または通院が困難な方

■申し込み方法

- ・在宅の方：歯科巡回診療申込書を市町窓口へ提出し、保健所を経由して口腔保健センターへ提出
- ・施設入所の方：歯科巡回診療申込書を施設でとりまとめて口腔保健センターへ直接提出

■診療費用

一般の歯科診療と同じく保険診療で、自費診療はしない（自己負担あり）

■その他

家族、または施設職員など、受診者の健康状態を把握している方の同伴を原則

■問い合わせ先

長崎県口腔保健センター 長崎市茂里町3-19
電話 095(848)5970 FAX 095(848)5980

香典返し		一般寄付	
岩本一富	下折橋町	茶道裏千家淡交会長崎六青年部	匿名
石田富夫	新馬場町	稲田光広	本光寺町
本田哲也	新山一丁目	一円玉寄付	姫路市
柴田芳博	先魁町	嶋田正枝	新馬場町
松本伴	上の原一丁目	松崎好行	磯石原町
倉本伸子	亀の甲町	寺田久香	青葉町
百田賢生	下宮町		
松本喜久代	六ツ木町		
谷川待子	下新丁		
吉田豊	大三東戊		
金子利通	大三東丙		
三浦哲彦	佐賀市		
大津益美	三會町		
久保康雄	新湊二丁目		
船戸哲郎	湊道二丁目		
本多松一	南崩山町		
吉田昭浩	稗田町		
増田トキ子	中尾町		
伊藤實恵	南下川尻町		
松田大成	上新二丁目		
福原義昭	山寺町		
吉岡了	北原町		
松崎義信	船泊町		
吉田日出夫	下の丁		
平博行	津町		
中島ソメ	山寺町		
酒井千鶴子	出平町		
中山ヨシエ	油堀町		
大場正重	北安德町		
中村信彦	靈南一丁目		
増田秋義	出平町		
塚野文子	上の原三丁目		
福島幸一	新山二丁目		
稲田政照	上の原三丁目		
佐藤良二	大下町		
片山力	上新一丁目		
藤木健治	大下町		

社会福祉事業への寄付

ありがとうございました

平成21年12月8日〜平成22年2月18日
(敬称は略させていただきます)